



## 飯田市橋北地区民生児童委員協議会



▲大門町の名札を持つのが秦嘉雄会長

地域社会の一員としてみんなで連携しながら、さらに住みやすい町を目指す

取材に伺った10月の定例会は「おママで体操」から始まりました。飯田市社会福祉協議会が考案した介護予防体操で、飯田の四季と文化伝統を織り込み、歌いながら楽しく体を動かせるよう工夫したオリジナル。コロナで中断して3年ぶりの復活です。全員で体を動かし、リラックスしたところで秦嘉雄会長が進行する定例会に入ります。

「桜町」「伝馬町」など飯田城（長姫城）の城下町として栄えた面影を残す町名を記した名札が並びます。橋北地区は飯田城跡からほど近い町の中心部であり、ふたつの川に囲まれた高台という独特の地形から「丘の上」と呼ばれています。歴史的建造物や城下町の遺構を保存し「まるごと博物館」を地域づくりの柱とし、明治の日本画を代表とする菱田春草の生誕地も公園として整備した趣ある町並みが誇りです。

秦会長は天龍村に生まれ育ち、県職員として転勤したのは、ほんの一時を除いて飯田下伊那のみという生粋の南信州人。民生児童委員二期目で橋北地区民生児協会長に就任し、現在会長として二期目。今期からは飯田市民児協の会長も務めています。

飯田市は「言葉遣いも柔らかく、気さくな気質の住みやすい町」と言います。その中でも橋北地区は「買い物弱者の問題を抱える地区もある中、移動販売の業者が複数あり、隣近所の助け合いがしやすい市街地の当地区は、



▲歌と体操を組み合わせた「おママで体操」から始まる定例会

高齢者にとっても便利な地域」とのこと。

定例会には市福祉課、社会福祉協議会、地域包括支援センター、保健課からそれぞれ職員が最後まで同席し、対応やつなぎ先に迷った委員に、その場で応じられるようにしています。飯田市は20の地区ごとにまちづくり委員会を構成していますが、橋北地区でも民生児童委員はその中の健康福祉委員と連携しながら、地域の一人として貢献しています。

コロナ前に戻ったこれからの抱負を秦会長は「他地区と交換した情報を委員の皆さんにフィードバックしていきたい」と語っていました。



### 表紙写真紹介

#### 「四阿山」のニホンカモシカ

上田市の菅平牧場から四阿山(2354m)へスノーシュートレッキングに出掛けました。山頂直下にはコメツガやシラビソのスノーモンスターが広がり、冬も多くの登山者で賑わいます。早朝、どこまでも碧い四阿ブルーの空の下、山の守り神を思わせるニホンカモシカに出逢いました。

撮影： 県民児連事務局 酒井 祐樹



### 表紙写真募集!!

表紙を作品発表の場、地域の紹介の場にと考えています。日ごろ写真を趣味にしている民生児童委員の方々の地域の風景やお祭などの風物詩を撮った写真を募集します。

デジカメ等で撮った作品の電子データをCDRIに入れて、撮影者のプロフィール、写真の内容に関する説明を添えて県事務局までお送りください。

詳細は県事務局(026-225-1613)まで。